



2023年9月14日

各 位

会社名 株式会社カラダノート
代表者名 代表取締役社長 佐藤 竜也
(コード番号：4014 東証グロース)
問合せ先 コーポレート本部長 長岡 秀周
(TEL 03-4431-3770)

通期業績予想と実績値との差異および 特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年6月14日に公表いたしました2023年7月期の通期業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、特別損失の計上について、下記の通り併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

(1) 2023年7月期通期業績予想と実績との差異(2022年8月1日~2023年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,050	百万円 △142	百万円 △140	百万円 △158	円 銭 △25.40
今回実績(B)	2,056	△137	△131	△272	△43.72
増減額 (B - A)	+6	+5	+9	△114	△18.33
増減率(%)	+0.3	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2022年7月期)	1,306	△205	△202	△271	△43.57

(2) 差異が生じた理由

当社は、「家族の健康を支え 笑顔をふやす」というコーポレートビジョンのもと、家族とのつながりを起点としたファミリーデータプラットフォーム事業を推進しております。当事業年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、経済活動の制限が緩和されるなど回復の兆しをみせた一方、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安の進行、エネルギー価格の高騰など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢下において当社は、前事業年度より中長期的な事業成長に向け、ビジネスモデルの転換を進めるべく、家族サポート（ストック型ビジネス、保険代理事業「かぞくの保険」、宅配水事業「カラダノートウォーター」）の拡大に向け注力しております。

この中長期経営計画の下、黒字体質に向けた構造改革、中長期での安定的な利益創出を目的に特別損失として122,411千円を計上することといたしました。

2. 特別損失の計上について

ストック型ビジネスにおけるインサイドセールス部隊の来期を見据えた体制見直しを行うべく、業務委託契約の解除に伴う契約解除損42,591千円、並びに「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損損失79,820千円を特別損失として計上いたしました。

なお、減損損失については、個別事業は計画通りに進捗しているものの、上記会計基準に従い、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産を含めた全固定資産を対象としております。

3. 業績への影響

本件は、本日開示の「2023年7月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に反映しております。

以上